

新型コロナウイルス感染防止のため、式辞を省略し印刷物として配布しました。

令和元年度卒業証書授与式 贈ることば（式辞）

卒業するあなたにとって、啓北商業はどんな学校でしたか。

私が言い続けてきたことは「常に問いを立てよ」ということでした。私自身、自己のあり方、使命は何かということ問い続け、果たして大人の振る舞いができているだろうかと自問自答しています。

私たちは生まれて以来、いろいろな人に出会い、周囲の人を真似ることで成長してきました。大人になってもロールモデル（模倣、手本）は必要です。これからも尊敬できて真似るべきロールモデルを見つけてください。そして、あなた自身が誰かの良きロールモデルとなることが重要なのです。それは生涯にわたって引き受けるべき大人としての責任です。「与える人」ほど、多くを受け取るものです。いつも言っていた“飯が食える大人”になるとは、そういうことでもあるのです。

私が尊敬する方の言葉を贈ります。ノートルダム清心女子大学の学長、理事長をされていた渡辺和子さんが、その著書である『置かれた場所で咲きなさい』で次のような言葉を遺されています。結婚しても就職しても、子育てをしても「こんなはずじゃなかった」と思うことが次から次に出てきます。そんな時にも置かれた場所で咲く努力をしてほしいのです。どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。そ

の代わりに根を下へ下へと降ろして根を張るのです。次に咲く花がより大きく美しいものとなるために。思いどおりにいかない時こそ自分らしさを輝かせる道があるのです。時間の使い方はそのまま命の使い方なのですよ。置かれた場所で咲きなさい。

幼少期に壮絶な体験をされた渡辺さんは、人生の大半をシスターとして、教育者として、人のあるべき姿を追求されてきました。自身の弱さや欠点を受容したうえで、生きることの意味を問い続け、命の尊さ、命の使い方を説いてこられたのです。私自身、自分の限界を自分で設定しているのかなと反省することがあります。気が付いたら、できない理由、やらない理由を探しているのです。自己の不甲斐なさに向き合う勇気も必要です。苦しいこともあります。辛いこともあります。啓北で学んだあなたには「道を切り啓く力」が宿っています。あなたの思い、あなたの言葉が未来をつくるのです。共に手を携えていきましょう。卒業おめでとうございます。

令和2年3月2日

市立札幌啓北商業高等学校

校長 鈴木 恵一